

---

 会 員 の 声
 

---

## お詫びと訂正

日本水産学会誌 73 巻 5 号「会員の声」(pp. 995-996)で話題提供した「魚体へのメチル水銀蓄積経路について—「水俣病の科学」の誤り—」について、数値の誤りと誤解を与える表現がありました。論旨には影響しませんが、訂正の上、お詫びしたいと思います。

数値の誤りについては、藤木らの実験の数値を2桁も読み違えてしまったもので、結果として「水俣病の科学」におけるメチル水銀の鰹からの取り込み量の過大評価は、12500倍ではなく125倍でした。また、藤木らはこの報告で魚体へのメチル水銀蓄積は鰹経由と結論付けていますが、それを引用していない点に批判を受けました。餌と共に投与した実験が、摂餌量などのデータが記されていないために検証できず、結論を引用する必要はないと考えたのですが、不適切でした。さらに副題が断定的すぎるという批判も受けました。

これらの点について、以下のように訂正させていただきます。「水俣病の科学」の著者や関係者の皆様、そして日本水産学会や会員の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

## [募集]

「会員の声」では、学会に対する意見を含め、会員の皆様のさまざまな意見を募集しています。原稿は500~1,000字程度にまとめて、必ずタイトルと氏名、所属を添えて学会事務局までご投稿ください。e-mailの場合はfishsci@d1.dion.ne.jpにお願いいたします。

(日本水産学会企画広報委員会)

## 訂正

## 副題

訂正前 「水俣病の科学」の誤り

訂正後 「水俣病の科学」は誤り？

藤木報告の引用 (p. 996 左段5行目~6行目)

訂正前 なお、藤木<sup>3)</sup>は、餌による投与では蓄積が  
起こらなかったとしているが、

訂正後 なお、藤木<sup>3)</sup>は、餌による投与では蓄積が  
起こらず、メチル水銀は鰹経由で蓄積す  
る、と結論付けているが、

数値の訂正 (p. 995 右段)

	誤	正
7行目	0.18 ppb	18 ppb
8行目	0.33 ppb	33 ppb
同	0.15 ppb	15 ppb
21行目	0.18 ppb	18 ppb
22行目	0.18	18
23行目	0.008%	0.8%
25行目	12500倍	125倍

(東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所

鈴木 譲)